

助成対象事業成果報告書(概要版)

| | |
|----------|-----------------------------------|
| 制度名 | 情報バリアフリー通信・放送役務提供・開発推進助成金 |
| 助成対象事業名 | 「AIを用いた手話動画認識による手話コミュニケーションの研究開発」 |
| 助成対象事業者名 | BIPROGY 株式会社 |
| 助成金の額 | 8,401 千円 |

【助成対象事業の全般について】

| | |
|-------------|--|
| ① 助成対象事業の概要 | 人工知能(AI)による手話動作認識のためのモデル、およびそのモデルを使った手話翻訳のサービス開発を行う。 |
| ② 助成対象事業の目標 | 聞こえない人(手話コミュニケーション)と聞こえる人(音声コミュニケーション)の間にAIが入ることでコミュニケーション問題を解消する。 |

【令和5年度実施部分について】

| | |
|---------------|--|
| ③ 助成対象事業の実施内容 | 手話動画認識のサービス化に向けて技術課題への対応とユーザニーズの調査を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・手話単語追加対応 ・技術課題対応 ・実証実験 ・ビジネス化検討 |
| ④ 助成対象事業の成果 | 手話認識率向上のための手話単語の追加対応を実施し、よく使う単語(肯定／否定単語など)の動作バリエーションを拡張した。手話開始／終了検知を向上するための動体検知対応や速度向上の技術課題対応に取り組んだ。 ビジネス化検討としてユーザニーズの調査を行い、従来の対面型に加えてオンライン対応のニーズを確認した。 |
| ⑤ 補足説明事項 | 今後、明らかになった技術課題の対応と共にユーザニーズへの対応を実施しサービス化を目指しています。 |